

前にすすんでいきたいなと思いましたが。色のつかい方、えんぴつのつかい方などを考え、イラストレーターさんの画ぞうをさんこうにして色々な絵にチャレンジしてみたいです。

そのためわたしは毎日練習やくふうをがんばります。なぜかと言うと、毎日練習しなかつたらやり方をわすれたり、うまくするやり方もわすれるかもしれないし、毎日練習やくふうをすると、日々うまくなっていくと思ってるからです。ほかに絵をつまくなるために、絵をかくのつかい方やかき方などをいっぱいしていくことをがんばります。

とくに一番大事なのが、あきらめないことです。ほかの人よりへたでも、あきらめないことが、わたしにしたら一番大事だなと思っていました。メンタルもつよかったです。イラストレーターさんになりたいです。

イラストレーターさんになれるように色々な工夫をして、イラストレーターさんになりたいです。

小沢 れいな

わたしのゆめは、人気のパティシエです。

なぜパティシエになりたいのかというと、はじめてチョコプレート作りをやってみたら、むずかしかったし、

たいへんだったけど作るのとトップिंगが楽しかったからです。あと、みんながスイーツを食べて、うれしいこと悲しいことをなくして、にこにこえがおになってほしいから、わたしのしよう来のゆめはパティシエになるうと思いました。

そのためにわたしは家でお母さんにおかしの作り方を教えてもらったり、図書館に行っておかし作りの本をかりて、家でおかしのしゅるいを調べたり、おかしの作り方やおかしのざいりようやそのおかしに使う道具を調べたりします。パティシエは体力がひつようなので、わたしはうで、手をききたえようと思えます。あと、パティシエはお金の計算もしないとだめだから、ひき算、たし算、かけ算などをあんだんでできるようにしようと思えました。このようないパティシエになりたいです。

奥島 あおい

わたしのゆめは、有名なガラス作家さんです。

なぜかという、わたしはガラスが大すきで、お父さんとお母さん二人ともガラス作家で、仕事をしているところを見てやりたいと思ったからです。

わたしはガラスが、太陽にはんしゃするところが大すきです。太陽

にはんしゃしたガラスの光は、そのガラスの色でゆかに色がうつってきれいです。

そのためわたしは体力作りをがんばります。ガラス作家は、体力を使うから体力をつけたいです。とくに体力を使うと思うのは、ふきガラスです。わたしが見たとき、ふきガラスはとても大へんそうでした。わたしはふきガラスをやるうと思いましたが。それと算数をがんばりたいです。ガラス作家は、作品の重さをはかったり、作品の大きさをはかたりします。ねだんの計算もします。入れ物の長さは、作品の大きさによってえらびます。

このようにして、わたしはがんばってゆめをかなえたいです。

○今津東小学校の皆さんからいただいた「私の志」は他にもあるので、次号でも紹介します。



藤樹書院・良知館通信⑱

侍ジャパン率いた元監督・

栗山英樹の人心掌握術

「知行合一」

藤樹書院 志村 洋

「人ごとにするな」と言う事はずっと言い続けました。とにかく侍ジャパンの選手に伝えたかったのはそれだけでした。」

ワールドベースボールクラシック(WBC)で日本代表を世界一に導いた栗山英樹元監督。北海道経営未来塾での講演で、自ら導き出したリーダー論を展開。その一部をお伝えします。

野球監督の仕事とは「最終的に判断すること」とし、試合中の決断や選手交代などで「2回同じ事が起きたとき同じ判断をすることができるかどうか」を常に考えていたという。チームが勝つ時の雰囲気について、「気持ちと一緒にやるだけでなく、試合に出ている人も出てない人も自分のできる準備を最大限にやりきっていくと、みんなが反応するようになる」と説明した。だからこそ「選手たちにどう何を伝えるか」に知恵を絞ったという。